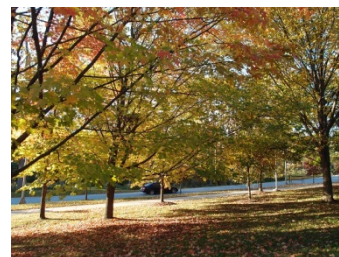


海外研修便り

阿部かおり

こんにちは。12月になり、病棟でもクリスマスツリーが飾られる季節になりました。10～11月はNIHのキャンパス内は、赤や金色の見事な紅葉で彩られていましたが、10月末には一度雪が降り、最近朝の気温が2度近くに冷え込むこともあります。それでも、室内はとても温かいので快適に生活することができます。また、11月6日から冬時間となり、日本との時差が14時間になりました。



さて、今回は Dr Vijay の研究の一場面についてお伝えします。先生の研究は、健康なボランティアの被験者にアルコールを含む点滴をして、そのセッションの途中で、アルコール呼気テストや心理検査などをさせていただくものになります。私の役割は、呼気テストをすることなどになります。被験者の皆さんは、どの方もフレンドリーに接して下さいます。セッションを見学させて欲しい旨をお話しさせてもらっても、みなさん「どうぞ」とにこやかにお返事して下さいますので嬉しく思います。また、簡単に自己紹介をさせてもらおうと、日本の話題になることもあります。今までに話題に挙がった内容は、日本の食べ物、アニメの話題、日本の小説や宗教の話題です。やはり日本食の中では、お寿司やお豆腐に人気がありますが、日本に来たことがある方は、ソース味のお好み焼きやたこ焼きが美味しかったと話され、アメリカの方々の日本の印象を知ることができとても面白いです。英語力のない私にとってこのような会話をするのは、とても緊張しますし、難しく悔しい思いもします。さらに語学力以前の問題として、私自身が知らない日本の話題になることもあり、日本の文化を学ぶ必要性を感じることもあります。

また、セッションの間は、被験者と医師やリサーチャーの方々は本当に良く話し、笑いながら行っているのが印象的です。

そしてこのセッションは、様々な研究を行う病棟で実施しています。そのため、ここで働く看護師は数多くの研究の手順や注意事項、対象者の特徴を把握する必要があると思います。また、日々最先端の研究が実施されていくのですから、治療の場としての病棟に加えて、研究の場としての病棟で働く看護師の重責があるように感じています。

最後に、11月24日はアメリカの Thanksgiving Day という祝日でした。病棟の看護師さんのお宅にて、アメリカの伝統料理を頂きました。メインとなるターキーは、丸ごと一匹ご自宅で焼いていました。ターキーだけでなく、その他の手作り料理も初めて頂くものばかりでしたが、とても美味しく楽しい食事会となりました。そして、改めて多くのことに感謝する一日になりました。

